日立ハイテク

HITACHI

2013年3月期決算説明会資料

2013/04/23

株式会社日立ハイテクノロジーズ

執行役社長　久田　眞佐男
執行役常務　宇野　俊一

Copyright©2013Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

Contents

2013年3月期決算説明会資料

Ⅰ 2013年3月期　決算概要

Ⅱ 2014年3月期　経営方針

Ⅲ 2014年3月期　業績予想

Ⅳ 参考：データ集

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

Ⅰ　2013年3月期　決算概要

（注）YY/MはYY年M月期を表しています。
（e）は、前回予想（2013年1月公表値）

Copyright©2013Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2013年3月期決算（ハイライト）

日立ハイテク HITACHI

（億円）

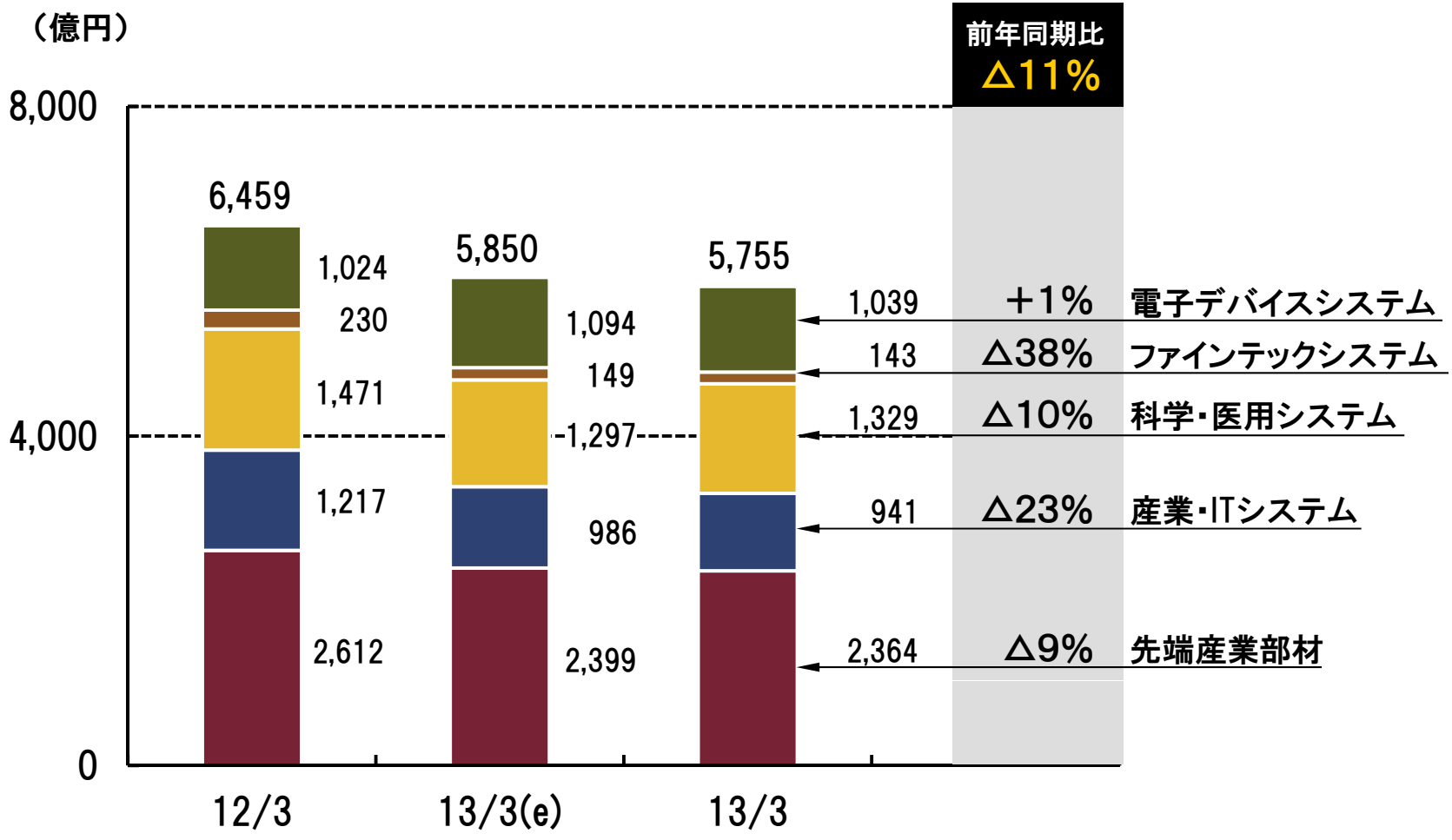
	当期実績	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売 上 高	5,755	△704	△11%	△95	△2%
営業利益	190	△65	△26%	△10	△5%
経常利益	201	△61	△23%	△7	△3%
当期利益	122	△21	△15%	△1	△1%
一株利益	88円45銭	△15円26銭		△00円98銭	
一株配当	20円00銭	△10円00銭*		±00円00銭	
ROE	4.7%	△1.1%		―	
FIV	△3	△36		―	
FCF	+65	△117		+30	

*2012年3月期の一株配当には、日立ハイテク創立10周年記念配当金10円含む

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2013年3月期決算(売上高)

売上高

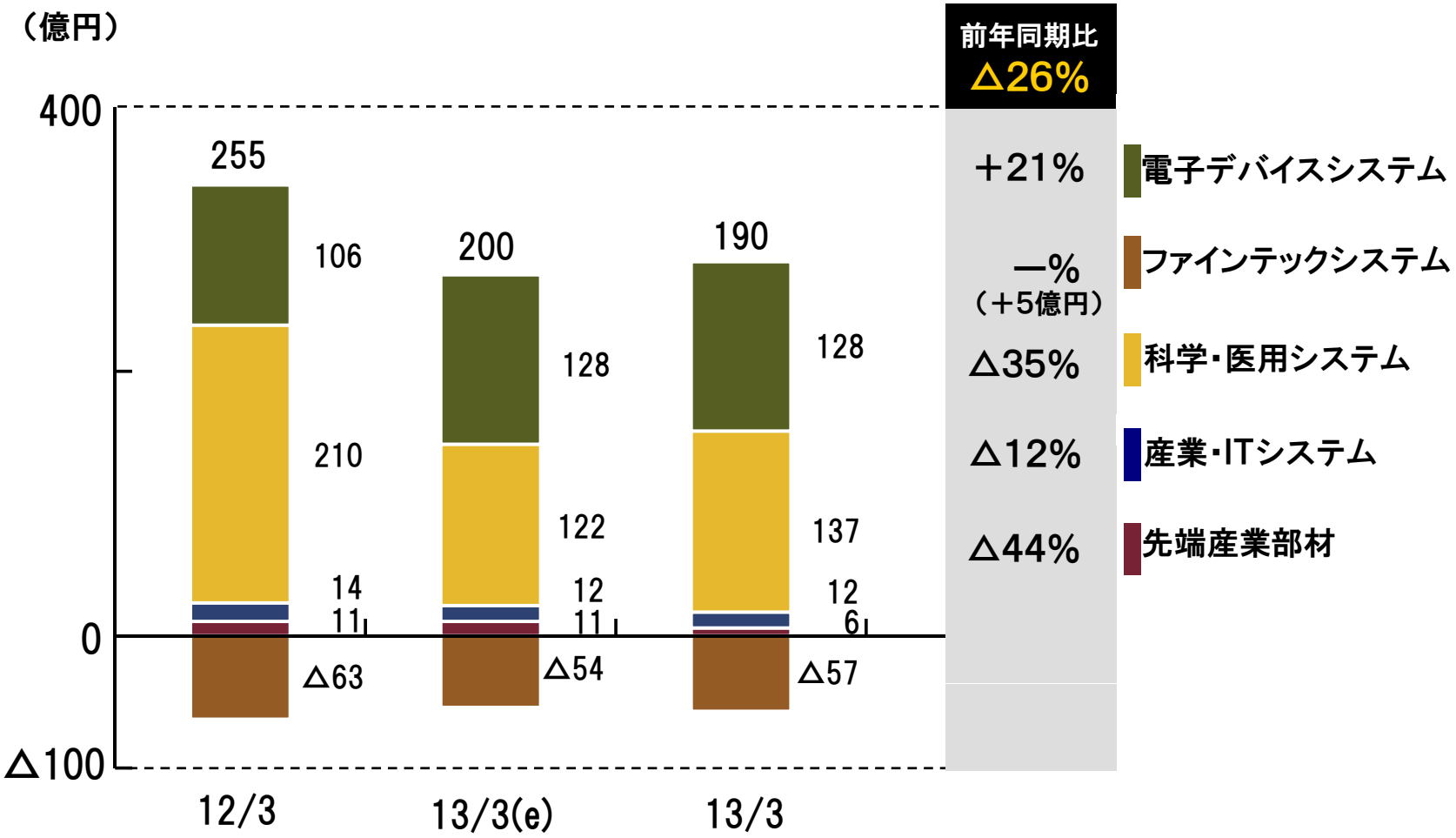


(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2013年3月期決算（営業利益）

営業利益



（注）合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2013年3月期決算（貸借対照表〔要約〕）

日立ハイテク HITACHI

2013年3月末 （億円）

		12/3末比			12/3末比
流動資産	3,306	△231	流動負債	1,373	△243
現預金、関係会社預け金	1,181	△40	支払手形および買掛金	844	△211
受取手形および売掛金	1,107	△193	その他	528	△32
たな卸資産	703	+17	固定負債	292	+16
その他	315	△15	退職給付引当金	265	△0
固定資産	1,030	+146	その他	27	+16
有形固定資産	663	+66	純資産	2,672	+142
無形固定資産	140	+77	株主資本	2,638	+94
投資その他の資産	227	+3	その他の包括利益累計額合計	30	+46
			少数株主持分	4	+2
資産合計	4,336	△85	負債および純資産合計	4,336	△85

・1株当たり純資産：1,939円81銭（前年同期比 +101円97銭）

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2013年3月期決算（キャッシュ・フロー計算書〔要約〕）

日立ハイテク HITACHI

（億円）

	13/3
営業活動による キャッシュ・フロー	＋110
税引前利益	＋170
減価償却費	＋78
運転資金	△3
法人税等支払	△119
その他	△17
投資活動による キャッシュ・フロー	△44
有価証券の取得・売却	＋21
固定資産取得・売却	△111
子会社株式の取得による支出	△63
その他	＋108
フリー・キャッシュ・フロー	＋65

	13/3
財務活動による キャッシュ・フロー	△80
配当金の支払	△28
短期・長期借入金の返済	△52
その他	△0
換算差額	＋34

	13/3
現金および現金同等物	
期首残高	1,216
増減額	＋19
期末残高	1,235

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

Ⅱ　2014年3月期　経営方針

Copyright©2013Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期　経営方針①

1. 成長分野へのリソースシフトによる事業ポートフォリオの強化

2. グローバル事業の拡大

3. 開発のスピードアップによる事業創造の推進

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期　経営方針②

1. 成長分野へのリソースシフトによる事業ポートフォリオの強化

電子デバイスシステム
重点顧客へのリソース集中による関係強化
➡ エンジニアリングサイト拡充による開発初期からのコラボレーション推進

測長SEM
「CG5000」

ファインテックシステム
事業構造改革の完遂と新規事業へのリソースシフト
➡ 全事業を日立ハイテクファインシステムズに統合（2013年4月）
有機EL関連事業に加え、環境・新エネルギーや
社会イノベーション分野での新規事業立ち上げ

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期　経営方針③

1. 成長分野へのリソースシフトによる事業ポートフォリオの強化

科学・医用システム

- 体外診断・DNAシーケンサ事業のW/Wシェア維持・拡大
  - ➡ 体外診断測定項目・ラインアップ増加および米国FDA取得によるDNAシーケンサの拡販等

- エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社＊を日立ハイテクサイエンスとしてグループ会社化
  - ➡ 熱分析・蛍光X線分析装置等の製品ラインアップの拡充、コア技術の融合によるシナジーの最大化

X線異物検査装置
「SEA-Hybrid」
（日立ハイテクサイエンス）

＊セイコーインスツル株式会社の100%子会社

商事部門

社会イノベーション分野への取り組み強化と付加価値提供型事業の推進

- ➡ JVコーラスコールアジア設立（2013年4月）コミュニケーションクラウド事業（従量課金制によるTV会議サービス事業等）の立ち上げ

コミュニケーションクラウド
（コーラスコールアジア）

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期　経営方針④

2. グローバル事業の拡大

自社製品部門

- 海外大手顧客との協業推進・連携強化

- 事業（製品）特性を踏まえたW/W最適生産体制の確立
  - ➡ 中国・大連で新興国向け汎用分析機器の製品設計・製造一貫体制構築等

高速液体クロマトグラフ
「Primaide」
（中国・大連にて製造）

商事部門

- 日立グループとの連携による社会イノベーション事業の推進
  - ➡ 小規模・分散型再生可能エネルギー事業、産業分野ICT（M2M）、日立グループ商社としての販売・調達等
- 地域開発の推進
  - ➡ インドネシア、ブラジル、ロシア、トルコ、サウジアラビア等

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期　経営方針⑤

日立ハイテク HITACHI

3. 開発のスピードアップによる事業創造の推進

新事業創生スキーム（枠組み）

コア技術 マーケット → 選考 テーマ募集 → 事業化FS → Cプロ* → 事業化

*Corporate(全社)・Challenge(挑戦)プロジェクト

Cプロテーマ

- 製薬研究支援
- 社会インフラ分析ソリューション
- M2Mビッグデータ
- 球状太陽電池スフェラー®
- 塗布成膜ソリューション

塗布成膜ソリューション

- 樹脂モールド太陽電池向け
  - 軽量化、高効率発電、耐候性を実現
- 大型タッチパネル向け
  - UV硬化樹脂の精密塗布技術と真空貼合せ技術を融合し、高生産性を実現

軽量樹脂モールド太陽電池

タッチパネル製造装置

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

Ⅲ　2014年3月期　業績予想

（注）YY/MはYY年M月期を表しています。

Copyright©2013Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想（ハイライト）

日立ハイテク HITACHI

（億円）

	当年度予想	前年同期比		中期経営計画比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売 上 高	6,400	+645	+11%	△1,600	△20%
営業利益	280	+90	+48%	△220	△44%
経常利益	280	+79	+39%	―	―
当期利益	197	+75	+62%	△113	△36%
一株利益	143円23銭	+54円78銭		―	
一株配当	20円00銭	±00円00銭		―	
ROE	7.7%	+3.0%		△3.0%	
FCF	+30	△36		―	

・想定レート：1USD＝95円、1EUR＝120円

・中計経営計画（2011年10月公表）

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(偏差説明)

日立ハイテク HITACHI

対中計経営計画(2011年10月公表値)比較

売上高 (8,000億円 → 6,400億円 △1,600億円)

マクロ要因

海 外	欧州債務危機の長期化や中国等新興国市場の成長鈍化
日 本	東日本大震災後の製造業設備投資の回復遅延

個別要因

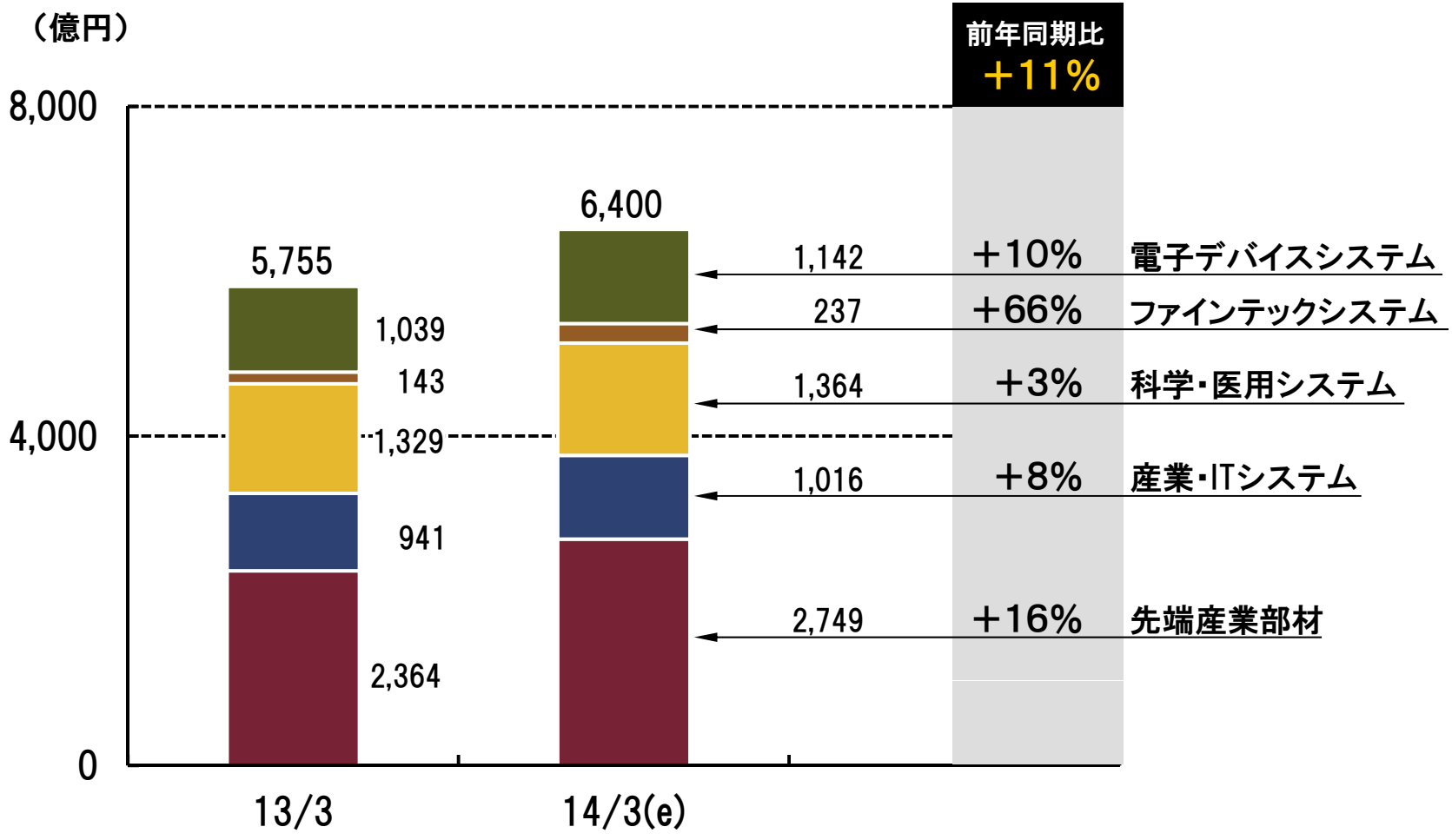
- 電子デバイスシステム(1,200億円 → 1,142億円 △58億円)
  PC需要低迷に伴う関連設備投資の遅延、2013年度大手顧客の不透明な設備投資動向等
- ファインテックシステム(500億円 → 237億円 △263億円)
  PC需要低迷や液晶TVの価格下落に伴う設備投資減少、有機EL市場の立ち上がり遅延等
- 科学・医用システム (1,400億円 → 1,364億円 △36億円)
  欧州債務危機の影響等によるバイオ・メディカル事業の需要減等
- 商事部門*(5,000億円 → 3,765億円 △1,235億円)
  国内設備投資の回復遅延や新興国の経済成長減速等に伴う民生機器用部材の需要減等

＊商事部門＝産業・ITシステム＋先端産業部材

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(売上高)

売上高

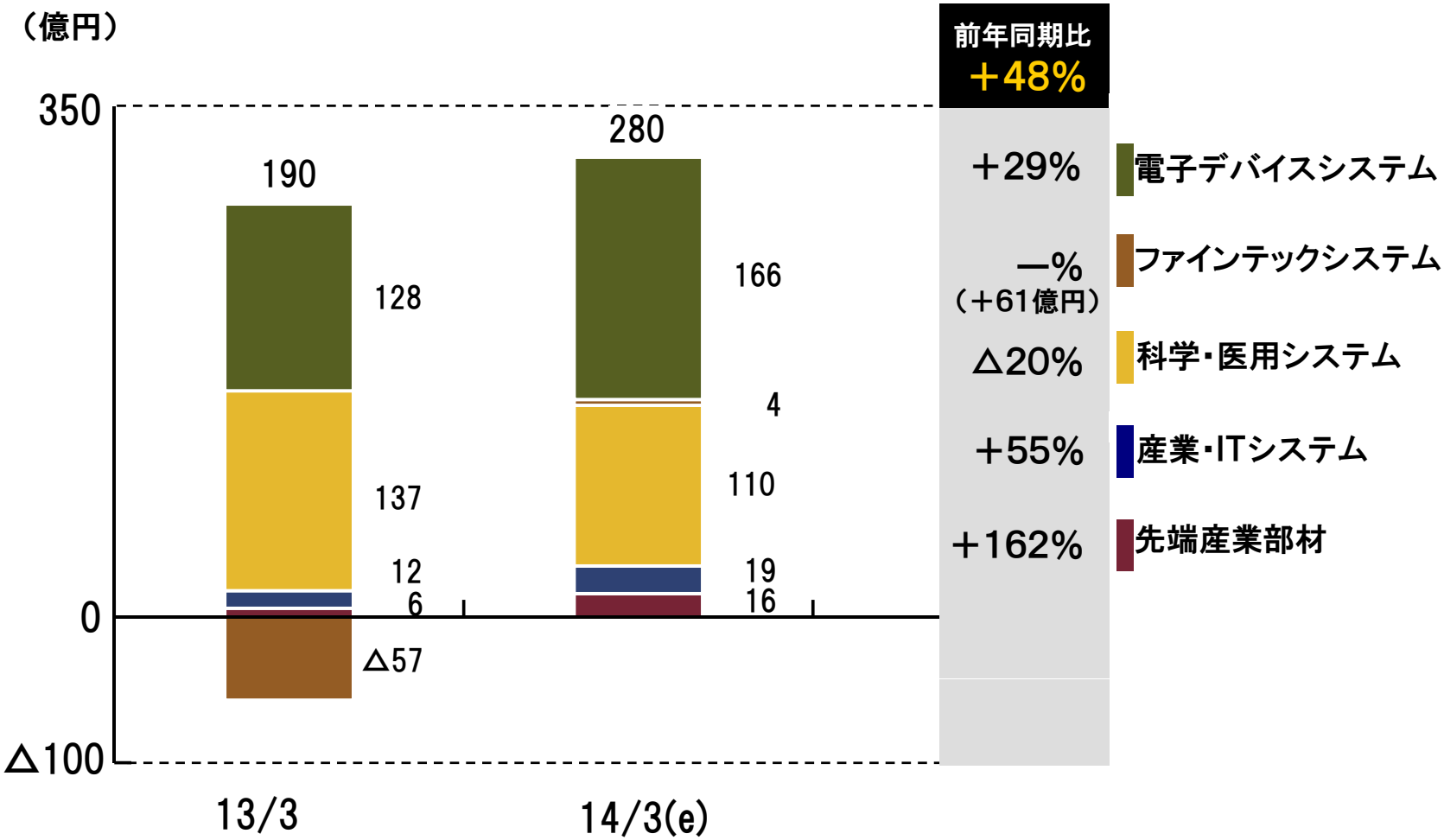


(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想（営業利益）

営業利益



（注）合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(電子デバイスシステム)①

日立ハイテク HITACHI

13年度事業環境

半導体製造装置市場概況

- 12年度装置市場は、PC需要低迷の影響を受け、前年同期比△19%。
  当社は成長セグメントへの注力により、11年度比増収
- 13年度装置市場は、前年同期比＋5%を予想。当社主力のゲートエッチング、
  計測・検査市場は マーケット平均以上の成長を見込む
- ファウンドリ20nm、並びにMPU14nmの量産開始。また、モバイル用低消費型
  DRAMの2Xnm微細化投資を見込む。3D NAND初の本格量産ラインが稼働
- プロセス技術面ではFinFET採用デバイスの量産開始。また、ダブルパターニング(DP)
  適応工程が拡大し、先端デバイス向けの投資活発化を期待
- ダイボンダ市場は、NAND薄ダイ化への投資が増加する見通し

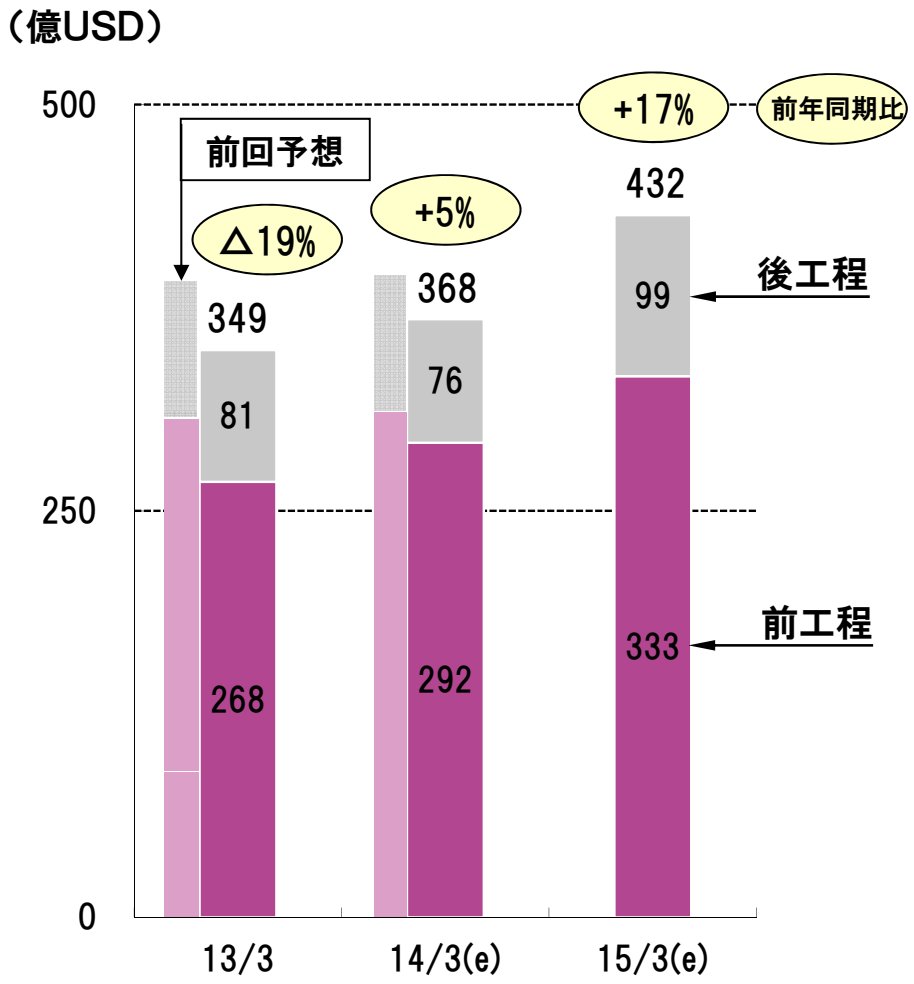
実装装置市場概況

- 13年度高速マウンタ市場は、低価格・超高速化が加速。
  EMSでは超小型部品実装ニーズの増加により、基本性能・生産性向上への要求が強まる

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

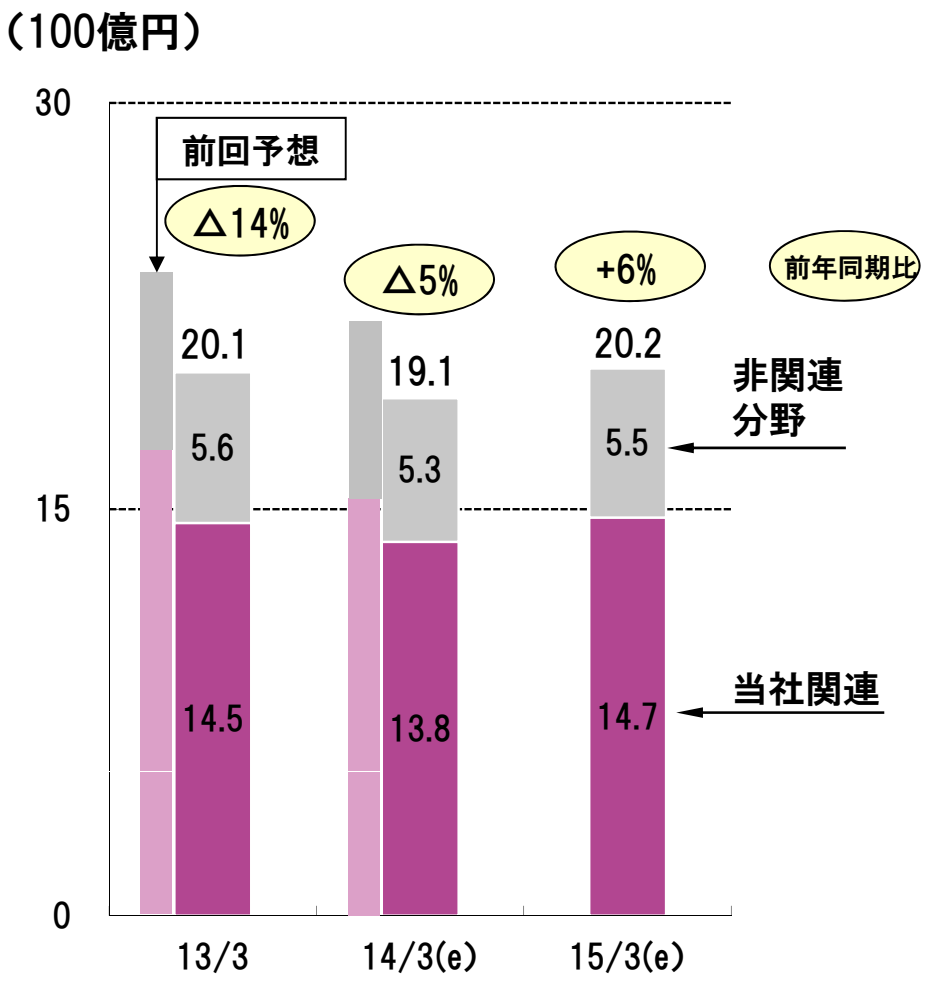
2014年3月期業績予想(電子デバイスシステム)②

半導体製造装置市場



(出所) Gartner(13年3月)ﾃﾞｰﾀに基づき当社作成
前回予想は12年10月の13年3月期2Q決算発表時の見通し

実装装置市場



(出所) 当社市場予測モデルにより算出
前回予想は12年10月の13年3月期2Q決算発表時の見通し

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(電子デバイスシステム)③

日立ハイテク HITACHI

半導体デバイスの微細化動向と当社の対応

■ 13年度半導体プロセス技術の動向と成長分野

分野	動向	成長技術分野
MPU	● 14nm量産技術の開発	・微細パターンの高精度加工 ・DP、FinFET対応計測
ASSP	● 20nm量産開始 ● FinFET量産試作開始	
NAND	● 3D-NAND量産技術の開発	・高アスペクト高精度加工 ・穴底計測技術
パッケージング	● 積層パッケージに向けた薄ダイ化	・薄ダイ対応組立技術
共通	● 450mm化の推進	・高生産性技術

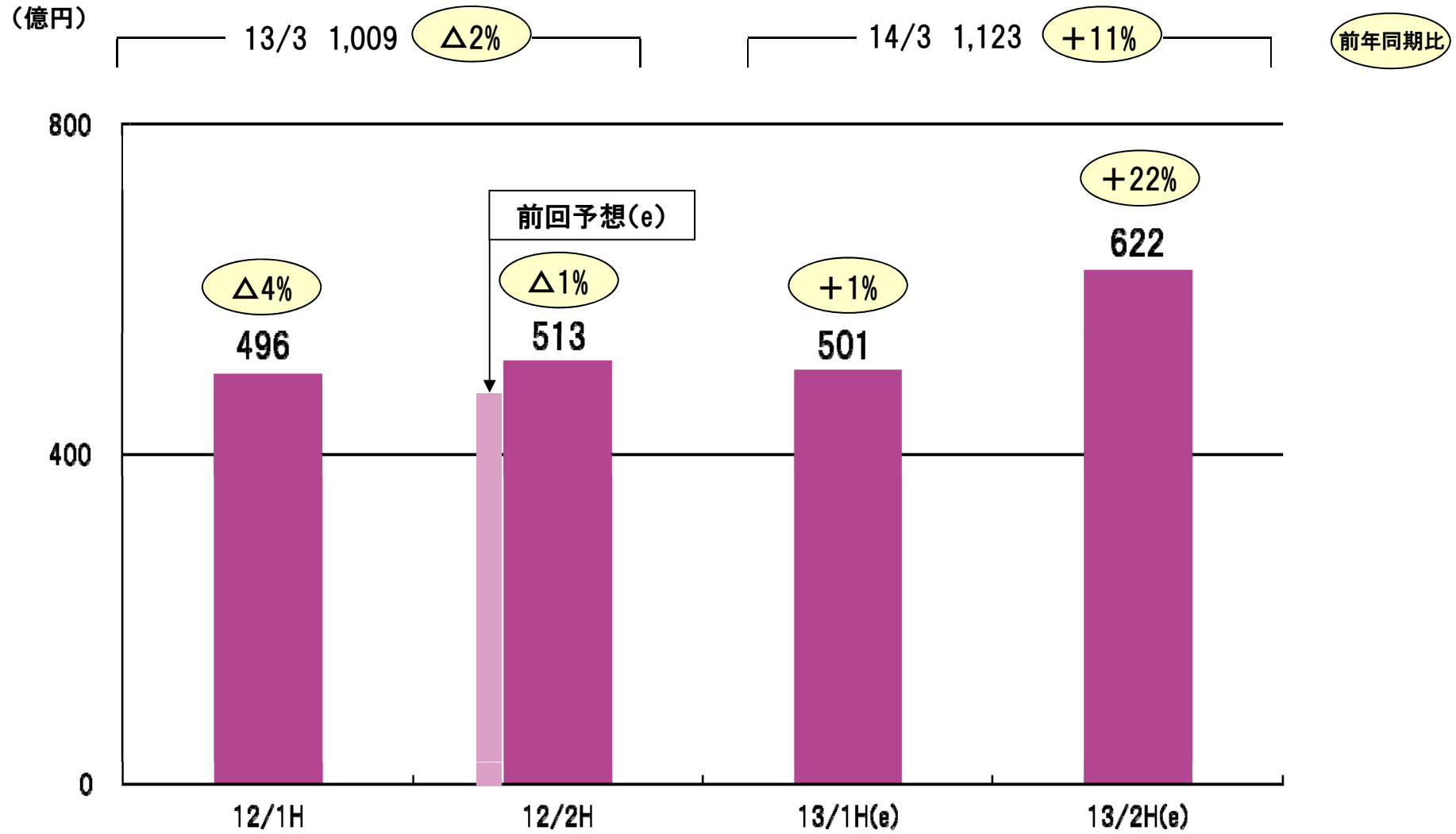
■当社の対応

・DP、FinFETなど微細化技術に対応した計測アプリケーションの充実
・14nm微細パターン加工に対応したゲートエッチング量産技術の確立
・3D-NANDなど高アスペクト対応加工技術・計測技術の確立
・コンソーシアム、先端顧客とタイアップした450mm技術の開発
・薄ダイ対応高速ダイボンディング装置のリリース

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(電子デバイスシステム)④

受注高の推移



Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(電子デバイスシステム)⑤

13年度基本戦略

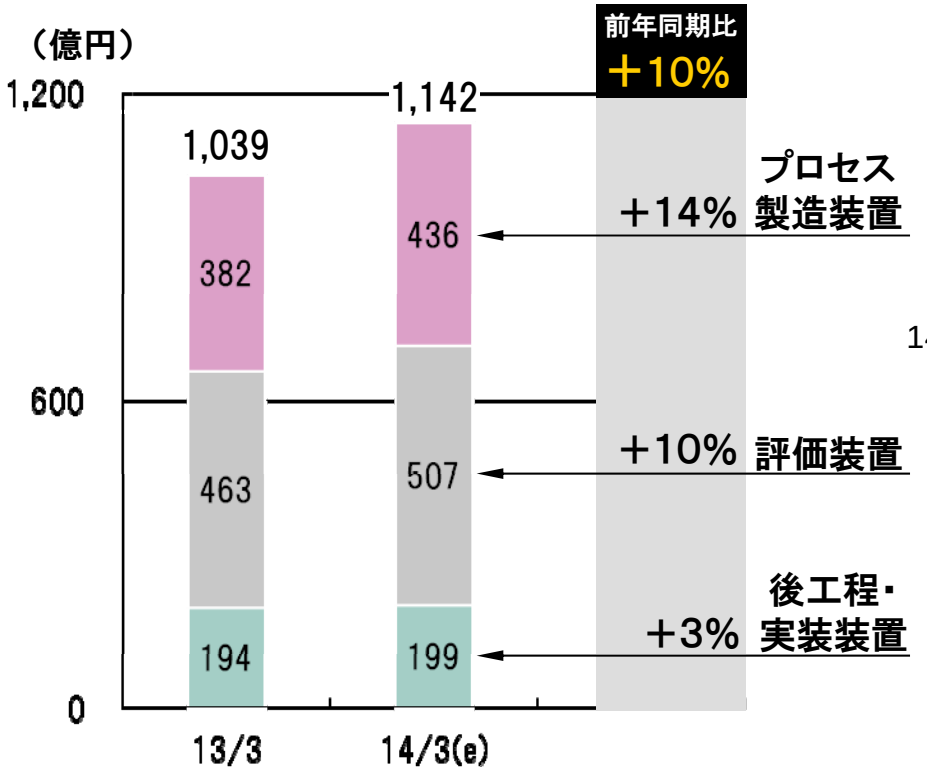
1. 事業ポートフォリオ最適化の推進

成長する先端ウェーハプロセス、高度化する組立工程で主要事業を拡大し、さらにパワーデバイスなど新分野へ事業を展開

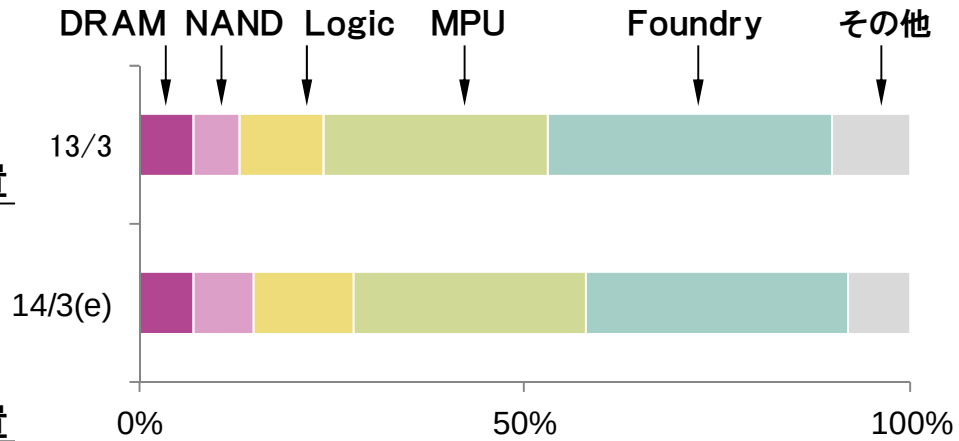
2. グローバル成長戦略の加速

Early Collaborationの推進とエンジニアリングサイト拡充によるグローバル顧客の獲得・セグメントトップ実現

主要製品群別 売上高の推移



前工程装置 分野別売上高比率



12年度:ファウンドリの大型投資により堅調に推移。
NAND関連は、投資抑制

13年度:ファウンドリ、MPUの投資は継続。
NAND、Logic関連の投資増加

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

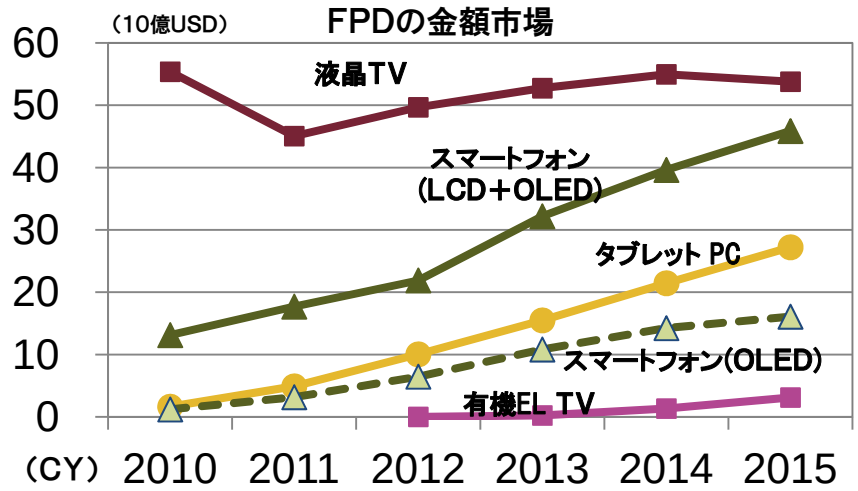
2014年3月期業績予想(ファインテックシステム)①

日立ハイテク HITACHI

13年度事業環境

FPD業界動向

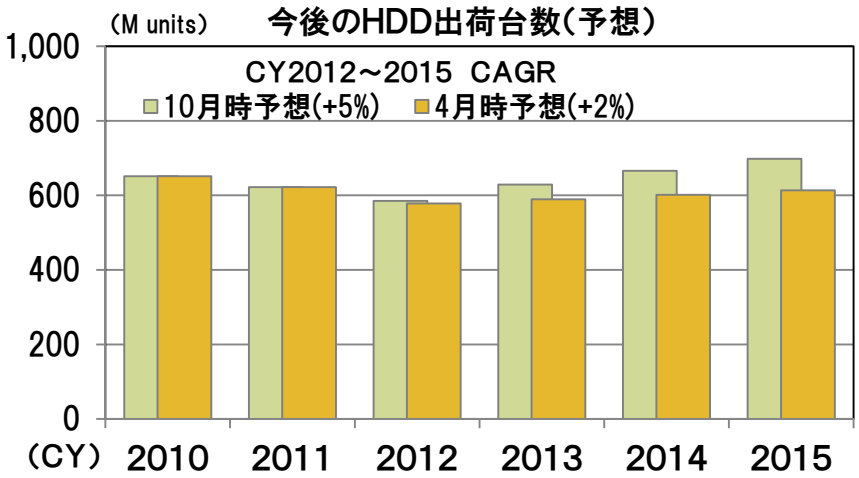
- 今後液晶TVは停滞
  大型パネル向け投資は中国で再開
- スマートフォン市場は継続成長
  スマートフォン向け有機ELの投資も継続
- 有機EL TVは2013年に本格立ち上げに向けた準備が進められると予想



出所:DisplaySearchデータを基に当社作成

HD業界動向

- タブレットの伸長、ノートPCの市場低迷によりHDD出荷台数の伸び悩みは継続
- 高密度化性能向上、歩留改善投資に限定
- HDDの出荷台数成長率鈍化
  (CAGR+5%→+2%)



出所:テクノ・システム・リサーチ データを基に当社作成

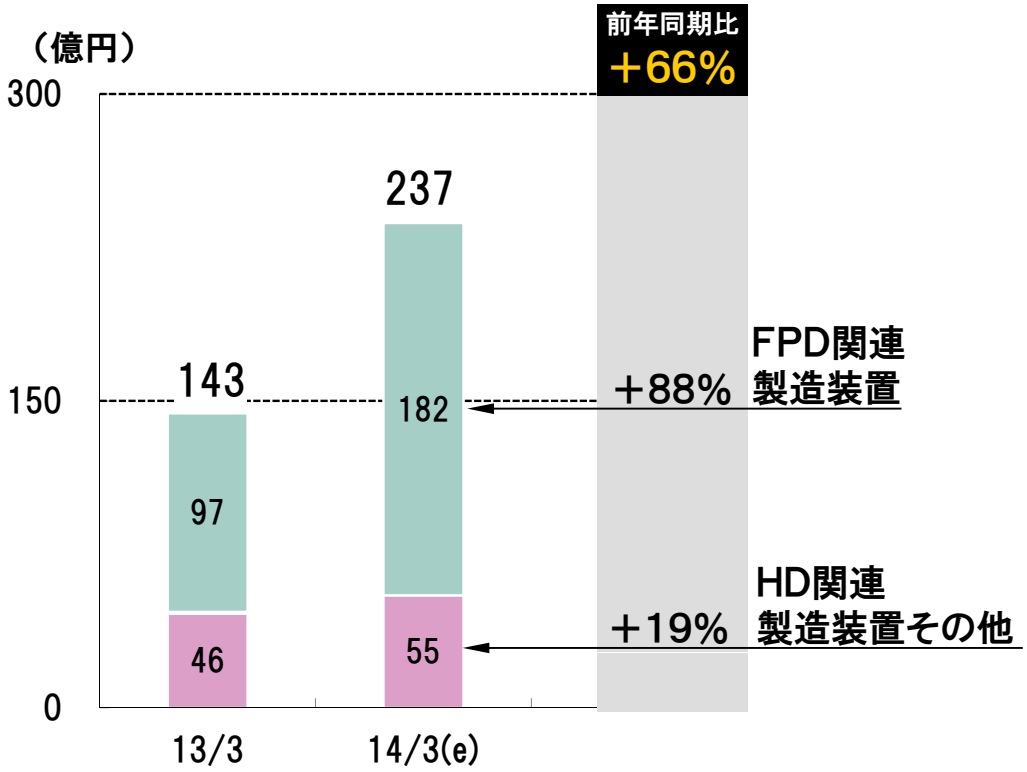
Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(ファインテックシステム)②

13年度基本戦略

1. 日立ハイテクファインシステムズ設立により「製・販・サ」一体の機動力のある事業展開推進
2. 成長分野である環境・新エネルギー・社会インフラ分野へ積極的事業展開

主要製品群別売上高の推移



事業構造改革推進

日立ハイテクノロジーズ
(ファインテックシステム事業)
(製造・販売)

日立ハイテク
エンジニアリングサービス
(サービス)

全事業を新会社に統合

製造・販売・サービス
を一体化し機動力UP

新規事業への
リソースシフト

日立ハイテクファインシステムズ

・有機EL事業:製造検査装置
・環境・新エネルギー事業:リチウムイオン電池製造装置、
プリンテッドエレクトロニクス
・社会インフラ事業:社会インフラ検測装置

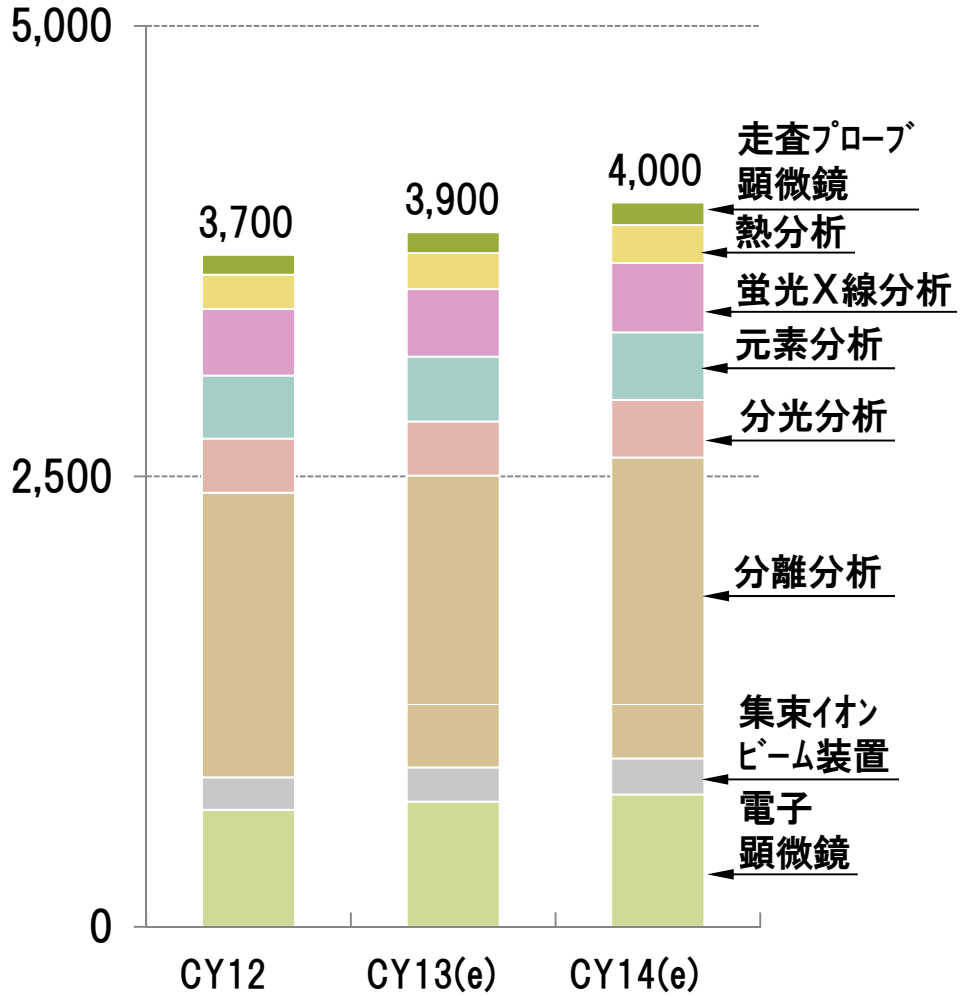
Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(科学・医用システム)①
科学事業

日立ハイテク HITACHI

科学市場(当社関連)

(億円)(売上ベース)　CAGR　+4%



(出所)市場調査会社のデータを基に当社推定

13年度事業環境

電子顕微鏡
- 半導体・液晶関連分野の需要が減少
- 次世代向け先端分野(新エネルギー・新素材)関連市場の需要は微増と予測
- 国内は補正予算による需要が見込まれる

分離分析
- 製薬分野における超高速タイプの液体クロマトグラフの需要が大きく伸長すると予想

蛍光X線分析
- リチウムイオン電池関連市場での異物検査需要が拡大と予想
- RoHS規制適用範囲拡大により伸長を予想

熱分析
- 機能性材料市場からの需要が堅調

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

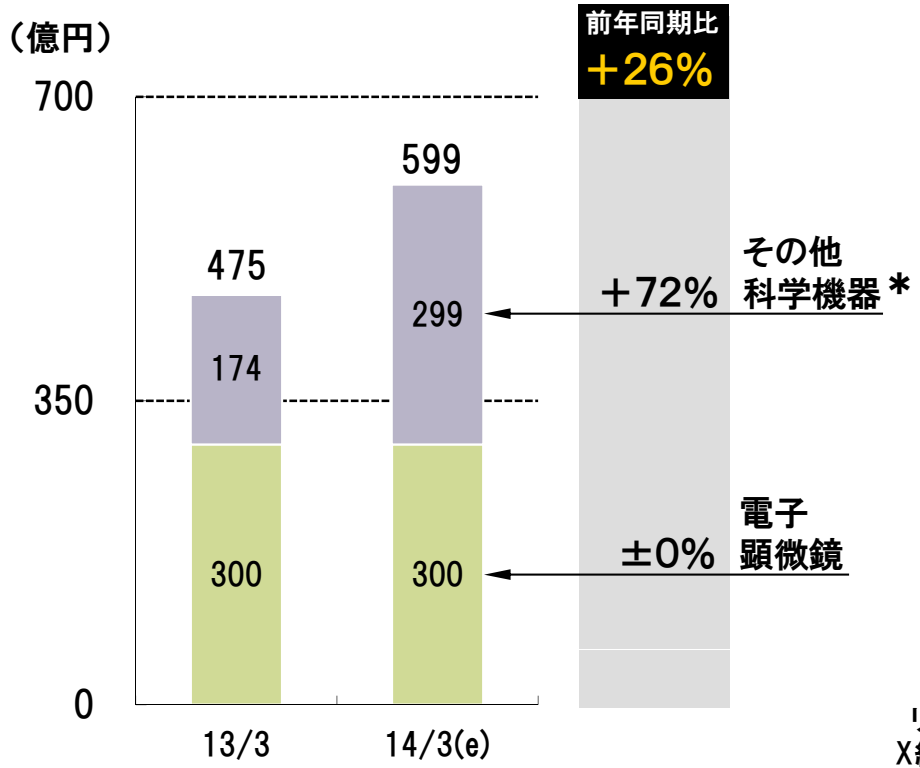
2014年3月期業績予想(科学・医用システム)②
科学事業

日立ハイテク HITACHI

13年度基本戦略

1. 日立ハイテクサイエンスとのシナジーによる製品ポートフォリオ強化と業容拡大
2. 環境・新エネルギーおよびバイオ・食品分野への専用機の拡販

売上高の推移



＊その他科学機器：分析装置および日立ハイテクサイエンス製品

今後の取り組み

- 製品ポートフォリオ強化による販売拡大
  - ・共同開発の推進(FIB-SEM他)
  - ・両社販売網の活用による販売拡大
- リチウムイオン電池／燃料電池用異物検査装置の拡販による環境・新エネルギー分野への深耕
- RoHS対応検査装置の拡販
- アミノ酸分析装置のバイオ・食品分野への拡販

リチウムイオン電池／燃料電池用
X線異物検査装置 「SEA-Hybrid」

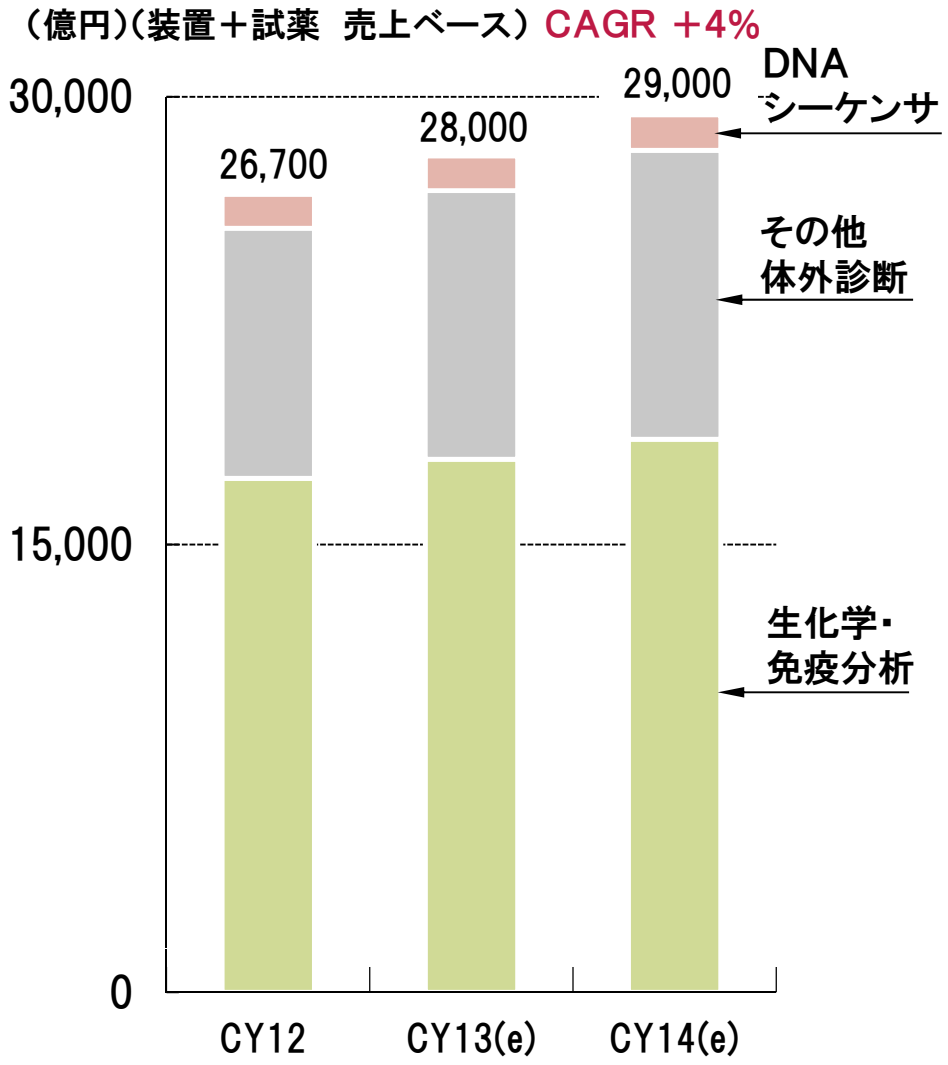
RoHS対応検査用
有害物質モニタ「SEA1000AⅡ」

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(科学・医用システム)③
バイオ・メディカル事業

日立ハイテク HITACHI

バイオ・メディカル市場(当社関連)



(出所)市場調査会社のデータを基に当社推定(試薬、装置含む)

13年度事業環境

■ 体外診断

・試薬が大部分を占める生化学・免疫市場全体は年率4～5%の成長を継続すると予想

・装置需要は欧州市場の買い控えにより成長減速するも、米国市場の回復および中国等の新興市場の需要増等により中期的には堅調な成長を予想

■ DNAシーケンサ

・研究分野は成長鈍化するも、法医学個人鑑定や医学研究等の応用分野の拡大により市場全体は堅調な成長を予想

・新技術の市場参入により競争が激化するが、CEシーケンサはデファクトスタンダードとして需要を維持

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(科学・医用システム)④
バイオ・メディカル事業

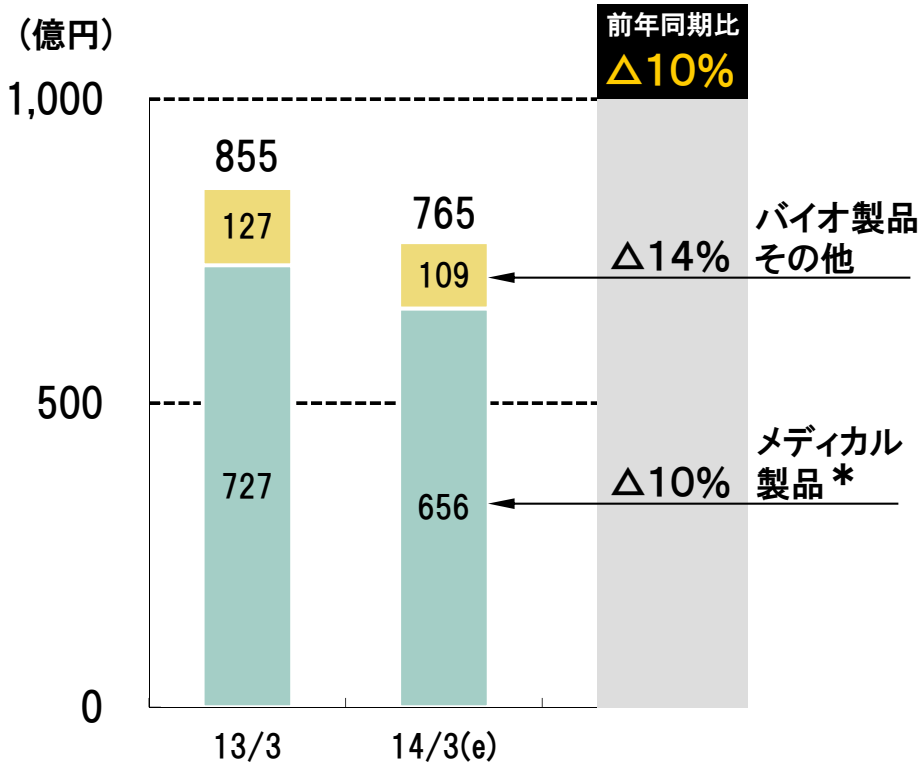
日立ハイテク HITACHI

13年度基本戦略

1. 生化学・免疫統合型システムによる大・中型装置市場の攻略
2. CE＊シーケンサによる臨床検査市場への本格参入

＊CE：Capillary Electrophoresis（キャピラリー電気泳動方式）

売上高の推移



＊メディカル製品：体外診断装置本体およびサービス部品

今後の取り組み

- 大規模病院、検査センターへの大・中型生化学・免疫統合システムのグローバル拡販
- 中国全土をカバーする販売代理店網による生化学自動分析装置需要の取り込みおよび血液凝固検査市場への新規参入
- DNAシーケンサとしては初の米国FDA薬事承認（510K）を取得した3500型の臨床検査分野におけるグローバル販売の立ち上げ

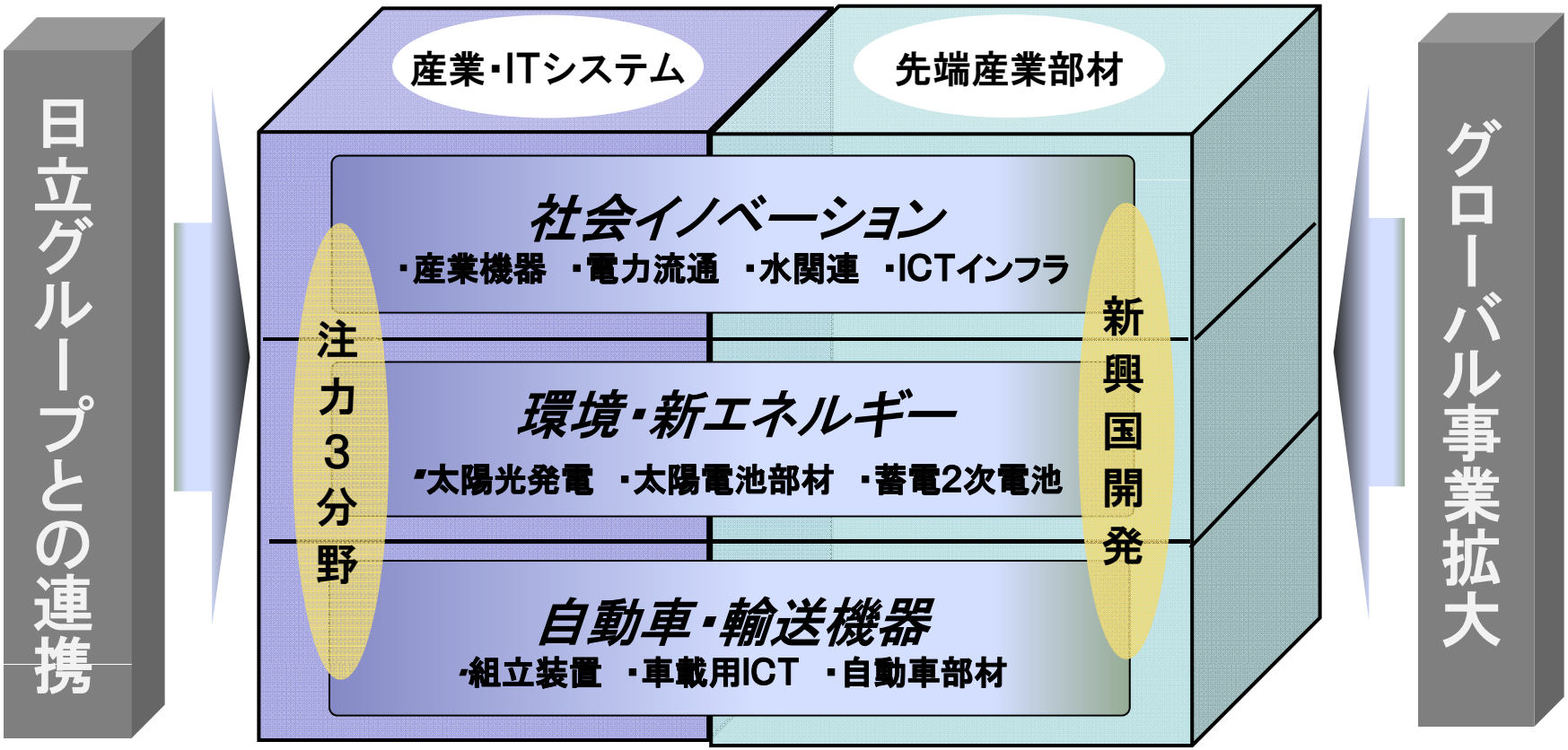
Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(産業・ITシステム/先端産業部材)①

日立ハイテク HITACHI

13年度基本戦略

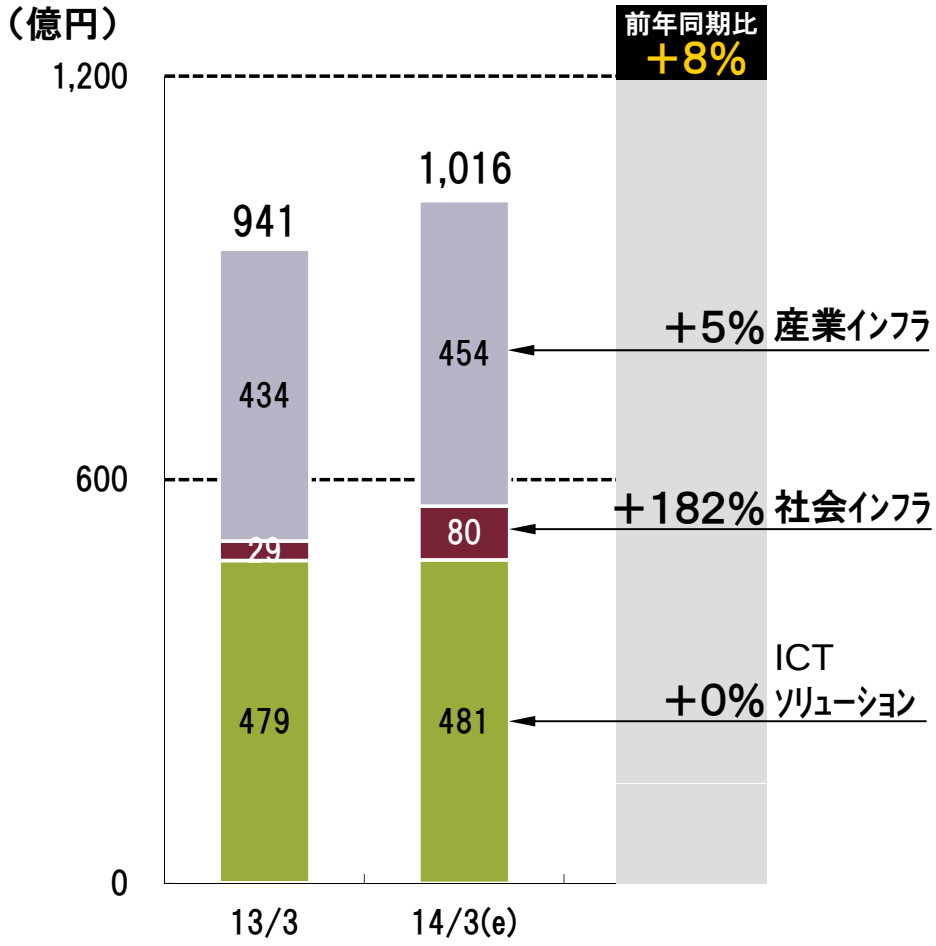
基本方針
注力3分野の推進による事業の拡大



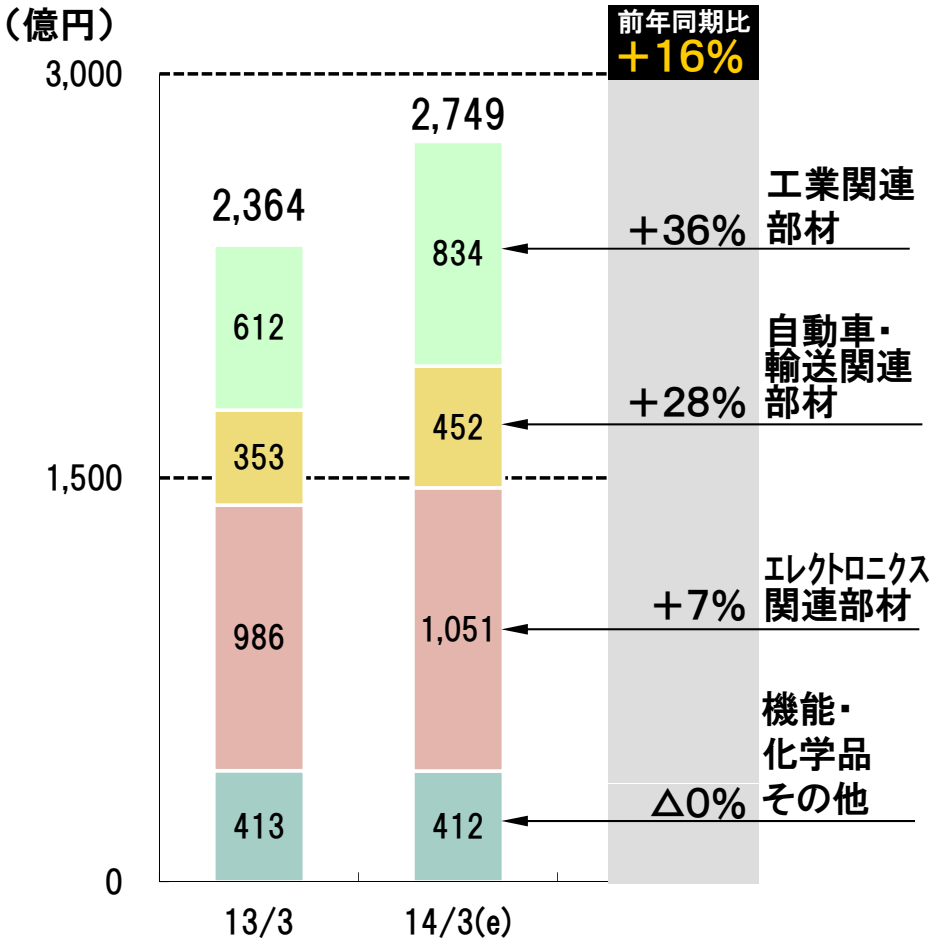
Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

2014年3月期業績予想(産業・ITシステム/先端産業部材)②

産業・ITシステム　売上高の推移



先端産業部材　売上高の推移



・産業インフラ：自動組立装置、計装設備 他
・社会インフラ：太陽光発電設備、電力流通 他
・ICTソリューション：情報機器およびソフトウェア事業 他

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

Ⅳ　データ集

（注）YY/MはYY年M月期を表しています。

Copyright©2013Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

四半期業績の推移

日立ハイテク HITACHI

（億円）

			12年 1Q	12年 2Q	12年 3Q	12年 4Q
売上高／営業利益	電子デバイスシステム	売上高	293	337	186	224
		営業利益	61	52	4	11
	ファインテックシステム	売上高	25	48	22	48
		営業利益	△14	△14	△12	△17
	科学・医用システム	売上高	355	345	241	388
		営業利益	52	32	9	44
	産業・ITシステム	売上高	259	279	183	221
		営業利益	△2	6	0	7
	先端産業部材	売上高	605	592	583	584
		営業利益	2	1	2	△0
	その他・調整額	売上高	△15	△17	△14	△17
		営業利益	△6	△13	△3	△16
	合計	売上高	1,523	1,584	1,200	1,447
		営業利益	94	66	1	29
経常利益			99	66	3	32
当期利益			62	49	3	8

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

設備投資額・減価償却費・研究開発費/地域別売上高

日立ハイテク HITACHI

■設備投資額・減価償却費・研究開発費

（億円）

	12／3	13／3	前年同期比	14／3(e)	前年同期比
設備投資額	173	117	△32%	233	+99%
減価償却費	91	78	△14%	101	+29%
研究開発費	236	218	△7%	237	+9%

（注）設備投資額は取得ベースにて記載

■地域別売上高

（億円）

		日本	北米	欧州	アジア	中国大陸	その他	計
12／3	売上高	2,740	830	890	1,849	936	149	6,459
	構成比率	42.4%	12.9%	13.8%	28.6%	14.5%	2.3%	100.0%
13／3	売上高	2,524	630	686	1,776	790	139	5,755
	構成比率	43.9%	10.9%	11.9%	30.9%	13.7%	2.4%	100.0%

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

主要製品群別売上高の状況

（億円）	12年1Q	12年2Q	12年3Q	12年4Q
電子デバイスシステム	293	337	186	224
プロセス製造装置	113	90	78	102
評価装置	138	156	71	98
後工程・実装装置	42	90	37	24
ファインテックシステム	25	48	22	48
FPD関連製造装置	16	34	14	34
HD関連製造装置その他	10	15	8	14
科学・医用システム	355	345	241	388
電子顕微鏡	67	72	54	107
その他科学機器	26	44	29	75
メディカル製品	220	201	131	175
バイオ製品その他	42	28	28	29
産業・ITシステム	259	279	183	221
産業インフラ	96	142	76	121
社会インフラ	2	11	5	10
ICTソリューション	161	125	102	90
先端産業部材	605	592	583	584
工業関連部材	154	155	143	160
自動車・輸送関連部材	84	81	91	96
エレクトロニクス関連部材	257	247	254	229
機能・化学品その他	110	110	95	98

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

＜資料取り扱い上の注意＞

・本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。

・当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.

END

2013年3月期決算説明会資料

お問合せ先
CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部
部長　加藤 弘之
TEL：03-3504-5138　FAX：03-3504-5943
E-mail：kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

Creative Minds. Innovative Solutions.

Copyright©2013 Hitachi High-Technologies Corporation All Rights Reserved.